

- 人口減少が進む中、施設の減少により買物、通院、通学が長距離となるなど地域の移動の問題がこれまで以上に顕在化。
- 地域交通の重要性が高まる一方、交通空白や深刻な運転士不足の中で、高齢者や若者などの日常の移動手段を確保する必要。
- 地域における持続可能な移動手段として、一般ドライバーを活用した市町主体の公共ライドシェアの導入を推進。

現状

みえ県民1万人アンケート

- ・全14分野の中で
「移動手段、交通の便利さ」の
不満度がワースト1位

生活に関連した14分野別の不満度(R6年度)

「移動手段、交通の便利さ」	50.1%
「給料や報酬・賃金」	41.2%
「家計と資産」	37.1%

人口減少が進行している地域の実情

- ・買物、医療、教育など日常生活に不可欠なサービスの再編が進み、移動の問題が深刻化

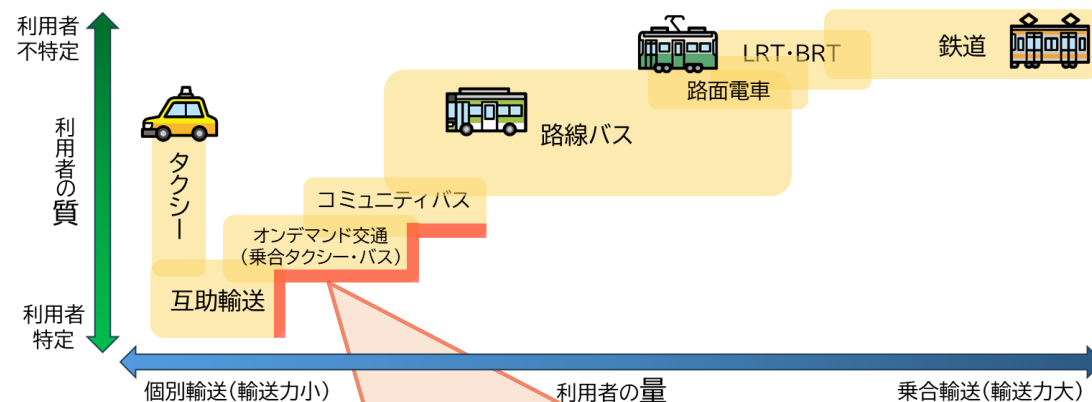
課題

- ・高齢者や若者などの日常の移動手段を確保する必要
- 一方で…
 - ・バス路線の減便、タクシー事業の縮小
→ エリア的・時間的な交通空白が多く存在
 - ・深刻な運転士不足
→ コミュニティバスの運行継続や
新たな移動サービスの導入が困難

取組方向

- ・一般ドライバーを活用した市町主体の公共ライドシェアの導入を推進

【さまざまな地域公共交通と公共ライドシェア】



公共ライドシェア(自家用有償旅客運送)

- ・市町等が主体
- ・地域で「交通空白地」と認めた区域
- ・原則として公用車等の自家用車(白ナンバー)
- ・ドライバーは一種免許(二種免許も可)

※運行管理や車両整備等を
交通事業者に委託可能

<メリット>

- ・安全・安心な運行体制の確保
- ・市町の負担軽減

地域の移動の問題を解決する「鍵」は公共ライドシェア！

○県では、伴走支援と財政支援の両輪で、市町における交通空白の解消に向けた公共ライドシェアの導入を支援。

○公共ライドシェアの導入市町は令和7年度に4市町増え、13市町に。高齢者の買物支援や高校生の通学支援を目的としたものや、住民ドライバーを多数確保した事例など、地域の実情に応じた多様な事例が広がりつつある。

県の取組

伴走支援

- ・国と県が市町を直接訪問し、地域交通の解決策を検討

財政支援

- ・補助金により、移動手段の確保に向けた市町等の取組を支援

R7.8 合同施策検討会(志摩市)



県内の導入状況

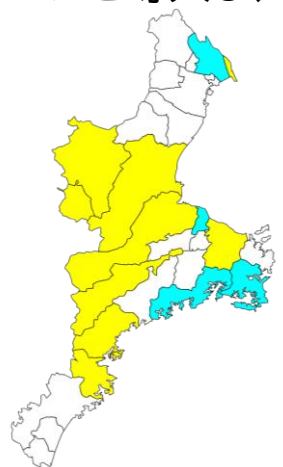
- ・令和7年度は新たに4市町が公共ライドシェアを導入し、導入市町は29市町のうち13市町に
- ・高齢者の買物支援(志摩市)や、高校生の通学支援(南伊勢町)など地域の実情に応じた多様な事例が広がりつつある



(志摩市・はまじま号)



(南伊勢町・高校生早朝運行便)



名張市の事例

住民主体の運行を行政が支援

- こもはら
・薦原地区:住民が組織する団体が区内を運行するコミュニティバス(定時定路線型)の利用率が低下

- ・市が支援し、コミュニティバスの再編とあわせてデマンド(ドアツードア型)の公共ライドシェアを導入

R7.10~

コミュニティバス「コモコモ号」の再編
+ 公共ライドシェア「コモコモらいど」の導入



Point

- ・活発な地域づくり組織による助け合い
- ・住民の自家用車を活用、ドライバーを14人確保

最年少ドライバー



小学生の時から地域の方にたくさんお世話になったので、恩返しをしたい。

➡ 地域に根差した持続可能な運行体制を確保

(R8.4~本格運行)



(コモコモらいど)

- 公共ライドシェアのさらなる導入に向けて、令和8年度は既存の交通事業者と共存可能なモデルの構築に向けた実証を実施予定。
- 身近に分娩取扱施設がない名張市および紀宝町において、妊産婦が健診等の際に自宅から分娩取扱施設等まで安全・安心に、公共交通を使って移動できるよう、地域の交通事業者等と連携・協力しながら、実証に向けて取り組んでいく。

令和8年度の実証

公共ライドシェアのさらなる導入に向けて

- ・市町への伴走支援、財政支援に加え、既存の交通事業者と共存可能な公共ライドシェアモデルの構築に向けた実証を実施予定
- ・身近に分娩取扱施設がない名張市および紀宝町において、妊産婦の健診時等のアクセス支援も兼ねた実証ができるよう取組中

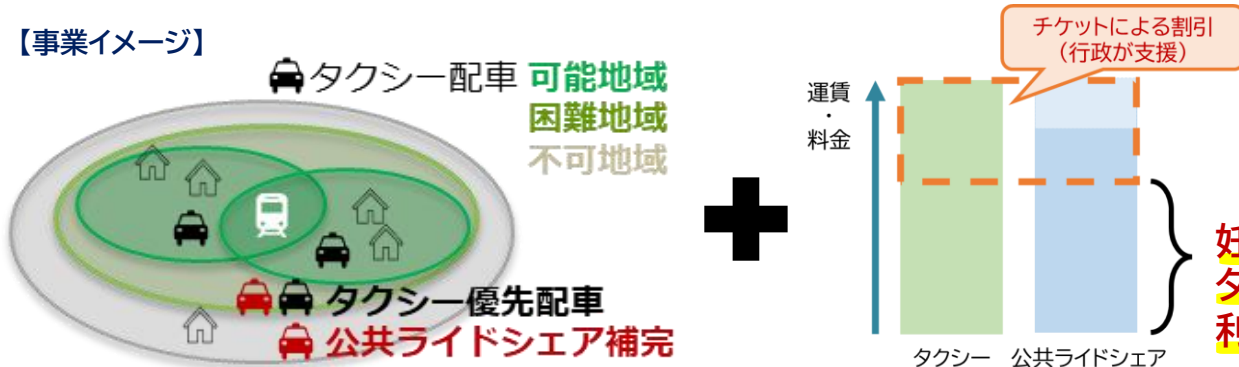
実証のポイント

- ・地域の多様なドアツードアの移動ニーズに対して、ドライバーの確保に苦慮しているタクシー事業者ではカバーしきれない地域や時間帯を公共ライドシェアで補完(タクシー優先配車)
- ・妊産婦等に対して、割引チケットにより利用料金の低減も実施

実証の狙い

- ・ドアツードア輸送力の強化
- ・運行データの取得を通じた移動ニーズの把握
- ・利用促進、需要の掘り起こし
- ・妊産婦等のアクセス支援

【事業イメージ】



【利用イメージ】

